



平成 28 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 専務執行役員 CEO オフィス長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

オーストラリア国内における CMAX 事業（臨床試験事業） の譲受を目的とした株式取得のお知らせ

当社は、IDT Australia Limited（以下、「IDT」という）の事業部門である CMAX（臨床試験事業、※1）を譲り受けること、そのために IDT が CMAX の譲渡に際して設立する新会社を段階的に完全子会社化すること（以下、前述の決議事項をまとめて「本件」という）について本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の概要

当社は、2012 年から業務提携を行っている IDT より CMAX の事業譲渡に関する提案を受け、検討した結果、当該事業がこれまで過去 3 事業年度にわたり営業利益の黒字を計上しており、今後も継続的な収益の拡大が見込めるとともに、当該事業の取得により中長期的な企業価値の向上が期待できることから、CMAX を取得することといたしました。

CMAX の譲渡を行うにあたり、IDT は当該事業を会社分割により分離し、新会社（以下、「新会社」という）を設立し、当社は当該新会社の株式を 61%取得し子会社化いたします。IDT と新会社を共同経営することで、当該事業の運営に関し深い理解を得た上で、最終的には当社が新会社の全株式を取得して完全子会社化を目指します。

当社は、2016年10月13日付「第三者割当により発行される第9回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー)の締結に関するお知らせ」にて、業績向上及び中長期的な企業価値の向上を企図としたM&Aを行うことを目的として、Evolution Biotech Fundを割当予定先とする新株予約権の発行による資金調達について公表しておりますが、当該資金調達は本件のために行うものであります。

2. 本件の意義

当社の主力事業である SMO（※2）事業の国内市場は成長が鈍化し、また企業同士の経営統合が行われるなど、その競争環境は厳しさを増しております。そのような中で継続的な成長を実現するためには、必ずしも国内だけにこだわるのではなく海外も視野に入れた規模の拡大が必要となります。当社はこれまで積極的なM&Aによって事業の拡大に努めてまいりましたが、今後はこれまでより大規模な他社を買収することで、短期間に収益を拡大し、また相互補完的に既存事業の収益を伸長させて企業価値を高めることを志向しています。

CMAXを取得することで当社グループ全体の利益拡大が期待でき、中長期的には企業価値の向上を通じて既存株主の皆様の利益に資するものと判断しています。また、当社は、グローバルマーケットにおいて臨床試験事業や先端医療事業の成長を目指すという戦略方針を掲げております。CMAXの臨床試験のための技術や知識を当社グループへ移転することにより、具体的には次のような事業上の恩恵を受けることが期待されます。

- (a)国内SMOの品質の向上
- (b)国内SMOの受注強化
- (c)海外CRO（※3）事業の発展
- (d)自社遺伝子治療製剤開発品の臨床試験推進力の向上
- (e)臨床試験受託を通じた再生医療等製品を手掛けるグローバル企業との関係構築
- (f)GMP（※4）ベクター（※5）製造施設のための案件情報の獲得

当社グループは、先端医療から低分子医薬品まで、様々な医薬品の開発に携わっていく中で、臨床試験事業においては、特にFIH試験に力を入れることで、新しい医療技術・医薬品の開発に貢献をしていきたいと考えています。

また、当社グループの先端医療事業を推進する株式会社 ID ファーマの開発品についても、上記のネットワークを活用し、対象疾患分野における著名な研究者等の支援のもと研究・開発を推進していくことができるものと期待しています。

3. CMAX の概要

CMAX は 1993 年に南オーストラリア州都アデレード市の Royal Adelaide Hospital 内にて創業し、2002 年に IDT の傘下に入りました。現在は、IDT の臨床試験事業部門で、この事業のパイオニアとして、20 年以上オーストラリアにおいて医薬品の開発に寄与しています。

創業の経緯から、Royal Adelaide Hospital とは強い繋がりを持っており、同病院に隣接する形でグローバルな大規模臨床試験の支援が可能な施設を設け、被験薬をヒトに対して世界で初めて投与する FIH (First In Human) 試験を含む早期臨床試験や患者 PK (薬物動態) 試験等の支援を行っています。世界で売上高上位 20 社に入る欧米 3 社の製薬企業と、平成 28 年 9 月末現在において取引実績があります。(参考: IDT の CMAX ウェブサイト URL <http://en.idtaus.com.au/idt-cmax/>)

4. Royal Adelaide Hospital の概要

Royal Adelaide Hospital はオーストラリア最大の基盤医学研究所である South Australian Health & Medical Research Institute (SAHMRI) 傘下の南オーストラリア州最大の医療機関です。南オーストラリア州政府は、アデレード市を医療の地域連携拠点とすることを目指しており、大学病院や研究機関が集結するエリアの開発を進めています。SAHMRI および Royal Adelaide Hospital は、そのような州政府の方針のもとに、高度専門医療を中心とした疾患の研究や医療技術・医薬品の開発に貢献しています。

5. 子会社化する予定の新会社について

① 新会社設立の理由

新会社は、本件遂行のために IDT が同社の事業部門である CMAX を分社化し設立するものです。当該新会社の設立後、当社はその株式の 61% を取得し子会社化いたします。

② 新会社の概要 (予定)

(1)	名 称	CMAX Pty Ltd
(2)	所 在 地	18a North Terrace, Adelaide, South Australia, Australia
(3)	代 表 者 の 氏 名	Jane Kelly
(4)	事 業 内 容	臨床試験事業
(5)	資 本 金	100AUD
(6)	設 立 年 月 日	2016 年 11 月中
(7)	大株主及び持株比率	IDT Australia Limited : 100%
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	当該会社の親会社である IDT Australia Limited に 6.4% 出資

※純資産、総資産については未定です。

6. IDT の概要

(1)	名 称	IDT Australia Limited	
(2)	所 在 地	45 Wadhurst Drive, Boronia, Victoria, Australia	
(3)	代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer, Dr. Paul MacLeman	
(4)	事 業 内 容	医薬品製造受託機関 (CMO) 事業、臨床試験事業	
(5)	資 本 金	46,961 千 AUD	
(6)	設 立 年 月 日	1986 年 2 月 11 日	
(7)	純 資 産	43,376 千 AUD	
(8)	総 資 産	52,911 千 AUD	
(9)	大株主及び持株比率	National Nominees Limited 15.1%	
(10)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当該会社に対して 6.4% 出資
		人 的 関 係	当社子会社の取締役が IDT Australia Limited の取締役を兼務
		取 引 関 係	臨床試験の委託等
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当ありません。

7. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式

(1)	異動前の所有株式数	0 株
(2)	取 得 株 式 数	61 株 (予定)
(3)	取 得 価 額	10,000 千 AUD (予定)
(4)	異動後の所有株式数	61 株 (議決権所有割合：61.0%) (予定)

※取得価額は、新会社のデューデリジェンス資料や IDT が作成した損益計画 (注) 等をもとに DCF 法等により企業評価及び検証を行った価額を参考に決定しております。

注 CMAX はこのほど施設を全面移転して、最新鋭の設備・検査機器等を備えた臨床試験実施施設を新設しました。それが臨床試験のスピードと品質のさらなる向上につながり製薬企業からの臨床試験実施に関わる発注が増えることが見込まれるため、これまでの実績に比して売上の伸長を見込んだ計画となっています。

8. 日程

(1)	取 締 役 会 決 議	2016 年 10 月 25 日
(2)	契 約 締 結 日	2016 年 11 月 4 日 (予定)
(3)	新 会 社 設 立 日	2016 年 11 月中 (予定)
(4)	株 式 譲 渡 実 行 日	2016 年 11 月末 (予定)
(5)	新会社の完全子会社化	2017 年 6 月以降 (予定)

9. CMAX の最近 3 年間の経営成績

(単位：千 AUD)

	2014 年 6 月期	2015 年 6 月期	2016 年 6 月期
売上高	8,341	9,380	9,257
売上総利益	4,451	5,715	4,888
営業利益	1,703	2,565	854

※上記の CMAX の経営成績は、IDT の一事業部門としての実績であります。

10. 今後の見通し

本件の来期以降への業績への影響は現在精査中であり確定次第お知らせいたします。

11. 今期の業績に与える影響

本件による平成 29 年 3 月期の業績への影響は軽微であります。

※ 1：臨床試験事業

臨床試験実施施設を運営し、製薬企業の開発支援・臨床試験の支援を行う事業のことです。

※2：SMO

Site Management Organization の略で、一般に「治験施設支援機関」のことです。医薬品・医療機器の開発段階では、その安全性と効果を確認する臨床試験（治験）の実施が不可欠です。治験を実施する医療機関では、診察や検査の他にデータの整理や種々の書類管理など、様々な業務が発生します。SMO は、治験を実施する際に医療機関で生じる専門的な業務を支援しています。

※3：CRO

Contract Research Organization の略で、一般に「開発業務受託機関」のことです。医薬品・医療機器の開発段階での臨床試験や製造販売後臨床試験等に関わる製薬企業等の業務の一部を代行・支援する受託機関です。

※4：GMP

Good Manufacturing Practice のことで、医薬品や医療機器の安全性を確保するために、製造設備とその管理、品質管理、製造管理について製造業者が守らなくてはならないことを明確にした基準のことです。厚生労働省による省令によりその基準が示されております。

※5：ベクター

治療用の遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内へ導入する働きを持つ物質のことです。その中でも、ID ファーマが独自に開発した「センダイウイルスベクター」は、従来のベクターとは全く概念が異なる RNA を骨格とするもので、前臨床試験を通じ安全性の高さが確認されている他、遺伝子医薬品やバイオ製品分野での利用に高い信頼性と実績を有しております。

以 上